

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

# JSiSE

発行日 2007年3月31日  
発行所 教育システム情報学会  
発行者 伊藤 紘二  
〒533-8533  
大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学内  
TEL06-6990-3638 FAX06-6990-3638  
<http://www.jsise.org/>  
E-mail: secretariat@jsise.org

## ニュース・レター No.147

JSiSE2007

## 教育システム情報学会第32回全国大会案内

### メインテーマ:「e-Learning の実績と今後の展望」

今回の大会では、「e-Learning の実績と今後の展望」をメインテーマに、誰もが学べる教育の場の創造とその質の向上を志向します。そのために必要な教育用コンテンツ、教育・学習支援環境、これらを駆使・活用できる組織作り、その教育的効果などに関して多くの研究、実践事例を発表しあい、討論を重ねることで、e-Learning がこれまでに成しえたことを明らかにし、対象者の広がりや高度化を指向した今後について展望します。また、教育分野におけるコンピュータ利用等に関する学術研究・調査および理論や実践に関する多くの発表も歓迎いたします。講演、パネル討論、ワークショップ、各種発表セッション、展示会を企画しております。多くのご発表、ご参加をお待ちしております。

- 開催日時：2007年9月12日（水）9:30 ～ 9月14日（金）17:00
- 会場：信州大学工学部【若里キャンパス】（〒380-8553 長野市若里 4-17-1）
- 主催：教育システム情報学会
- 共催：信州大学



### もくじ

全国大会のご案内	1	2007年度第1回研究会案内	10
英文誌論文募集ご案内	3	2007年度第1回研究会お知らせ	11
国際会議案内	4	中国支部研究会ご案内	12
ICCE2007論文募集	6	渉外活性化委員会研究会報告	13
事務局より	7	2007年度研究会予定	14
2006年度第5回研究会報告	8		
研究報告のお求めについて	9		

- 後援(予定): 文部科学省, 経済産業省, 総務省,
- 協賛(予定): 日本教育工学会, 電子情報通信学会, 人工知能学会, 情報処理学会,  
(財) コンピュータ教育開発センター, (財) 科学技術教育協会,  
(社) 日本教育工学振興会, NPO法人日本イ・ラーニングコンソシアム,  
e-Learning WORLD 実行委員会

■大会日程(予定) ※ 詳細は8月下旬にご案内します

- 9月12日(水) 第1日 9:30より 受付9:00開始  
ワークショップ, 基調講演, パネル討論, 一般講演, 企業展示会  
ウェルカムパーティ
- 9月13日(木) 第2日  
企画セッション, 総会, 特別講演, 一般講演, ポスター/デモセッション,  
企業展示会, 懇親会
- 9月14日(金) 第3日  
企画セッション, 招待講演, パネル討論, 一般講演, 企業展示会,  
ポスター/デモセッション

■大会参加費

- 一般 参加費 7,000円(事前申込 6,000円)(論文集を含みます)  
学生 参加費 1,000円(論文集は無し, 学生証の提示が必要です)  
※学生で論文集が必要な場合は, 一般参加費をお払ください
- 論文掲載費 1,000円(論文1編につき)  
※企画セッション, 一般講演, ポスター・デモセッションでの発表を対象とします
- 懇親会費 6,000円 (事前申込み 5,000円)

■発表・参加について

- 発表申込み締切 2007年6月29日(金)
- 発表原稿提出締切 2007年7月27日(金)
- 事前参加申込締切 2007年8月17日(金)(申込方法等調整中です)

■ワークショップのテーマ・オーガナイザ募集

初日のワークショップのテーマとそのオーガナイザを公募いたします。メールにて大会事務局宛にお申し出ください(締め切り5月10日)

■教育機関で実践してきたe-Learningに関するデモ展示

本大会では, 企業展示とともに, 教育機関がこれまで実践してきたe-Learningに関するデモ展示を行う事になりました。詳しくは決定し次第下記HPにて掲載いたします。

■大会事務局

〒380-8553 長野市若里 4-17-1  
信州大学工学部情報工学科 不破研究室気付  
教育システム情報学会 第32回全国大会事務局  
e-mail jsise2007@security.cs.shinshu-u.ac.jp

■全国大会ホームページ(適宜最新情報を掲載します)

<http://security.cs.shinshu-u.ac.jp/JSiSE2007/>

# 教育システム情報学会英文誌 論文募集

## (Vol.6, No.1, 2007 年 12 月発行予定)

英文誌編集委員会

教育システム情報学会では、2002 年度から年 1 回定期的に英文誌を発行しています。これまでに発行してきました英文誌は、質・量ともに「教育と情報通信技術」に関する世界レベルの内容となりました。このたび、Vol.6 に掲載する論文を募集いたします。是非、多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思っております。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

### ○論文種別

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),  
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

### ○投稿締切

2007 年 5 月 19 日

(投稿は随時受け付けていますが、この期日までにご投稿いただいたものに関しては、Vol.6, No.1 への掲載対象となります)

### ○投稿要件

- 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- 寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には投稿料に会員の価格が適用されます。寄稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、投稿料に会員価格が適用されます。

### ○原稿執筆要領

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください  
(<http://www.jsise.org/e-ed/CFP-IJ-JSiSE.pdf>)

### ○投稿方法

オリジナル原稿を PDF 形式にしたものを電子メールに添付して JSiSE 英文誌編集事務局 (jsise-e@jsise.org) へ送付してください。その他のファイル形式や提出方法を希望される場合は、お問い合わせください。

### ○問い合わせ先 (メールにてお問い合わせください)

JSiSE 英文誌編集事務局 E-mail: jsise-e@jsise.org



## 国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

## 新規情報 5 件

### PERVASIVE 2007: the Fifth International Conference on Pervasive Computing

開催日程：2007年5月13-16日

論文応募締切：2006年10月13日

開催地：Toronto, Ontario, CANADA

U R L : <http://www.dgp.toronto.edu/conferences/pervasive2007/>

Workshop：PERVASIVE LEARNING: DESIGN CHALLENGES AND REQUIREMENTS

開催日程：2007年5月13日

論文応募締切：2007年2月12日

U R L : [http://www.massey.ac.nz/~hryu/CFP\\_Pervasive\\_Learning.html](http://www.massey.ac.nz/~hryu/CFP_Pervasive_Learning.html)

### IWCMC 2007: International Wireless Communications and Mobile Computing Conference 2007

開催日程：2007年8月12-16日

主催：ACM

論文応募締切：2007年3月30日

開催地：Honolulu, Hawaii, USA

U R L : [http://dropzone.tamu.edu/~xizhang/IWCMC07/IWCMC07.htm /](http://dropzone.tamu.edu/~xizhang/IWCMC07/IWCMC07.htm/)

### MCCSIS 2007: IADIS Multi Conference on Computer Science and Information

開催日程：2007年7月3-8日

主催：international association for development of the information society (iadis) e-Learning Learning 論文応募締切：終了(2007年2月26日)

Mobile Learning 論文応募締切：終了(2007年2月26日)

e-Society 論文応募締切：2007年4月5日

Data Mining 論文応募締切：2007年4月5日

Human Computer Interaction 論文応募締切：2007年4月5日

Intelligent Systems and Agents 論文応募締切：2007年4月5日

開催地：Lisbon, Portugal

U R L : <http://www.mccsis.org/>

### CATE 2007: The 10th IASTED International Conference on Computers and Advanced Technology in Education

開催日程：2007年10月8-10日

主催：The International Association of Science and Technology for Development (IASTED)

論文応募締切：2007年4月15日

開催地：Beijing, China

U R L : <http://www.iasted.org/conferences/home-570.html>

WI 2007: Web Intelligence

開催日程：2007年11月2-5日

主催：IEEE, WIC, ACM

論文応募締切：2007年6月1日

開催地：Silicon Valley, USA

URL：<http://www.cs.sjsu.edu/wi07/>

## 再掲情報 2 件

ICCE2007：15th International Conference on Computers in Education

開催日程：2007年11月5-9日

主催：APSCE (Asia-Pacific Society for Computers in Education)

共催：教育システム情報学会, 教育工学会

論文応募締切：2007年4月23日

開催地：広島, 日本

URL：<http://www.icce2007.info/>

ISWC 2007：6th International Semantic Web Conference

開催日程：2007年11月11-15日

主催：Semantic Web Science Association

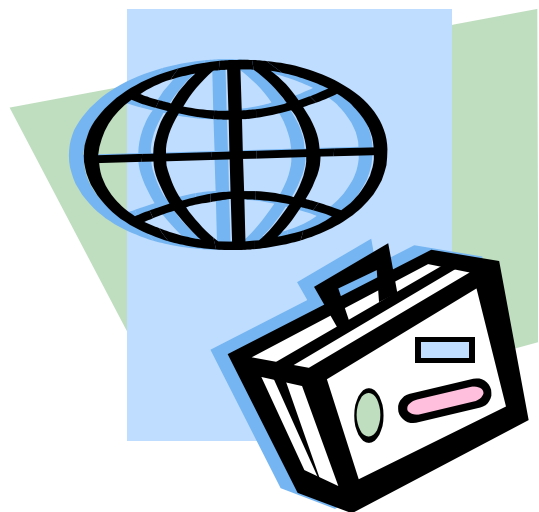
論文応募締切：2007年5月18日

開催地：Busan, KOREA

URL：<http://iswc2007.semanticweb.org/>

国際会議案内文責 松田 憲幸 (和歌山大学)

E-mail：[matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp](mailto:matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp)



---

---

# 15th International Conference on Computers in Education (ICCE2007) 論文募集

平嶋 宗 (広島大学)

ICCE2007 が 2007 年 11 月 5 日～9 日の日程で、広島において開催されます。  
論文の投稿締め切りは、2007 年 4 月 23 日です。教育システム情報学会がホストの  
一つとなって開催されますので、奮っての投稿、参加をお願いいたします。

--- CALL FOR PAPERS ---

15th International Conference on Computers in Education (ICCE2007)  
<http://www.icce2007.info/>

November 5-9, 2007  
Hiroshima Prince Hotel, Hiroshima, Japan

\*\*\*\*\*

Full Papers, Short Papers: Submission due: April 23, 2007

\*\*\*\*\*

Organized by APSCE (Asia-Pacific Society for Computers in Education)  
<http://www.apsce.net/>

Hosted by

- JSET (Japan Society for Educational Technology)  
<http://www.jset.gr.jp/english/index.html>
- JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education)  
<http://www.jsise.org/>

Best Regards,

Tsukasa Hirashima  
Dept. of Information Engineering, Hiroshima University



事務局より

## 2007年度 年会費のお振込みについて

今年度より年会費のお振込期限が5月末日となっております。5月末日までに年会費をご入金いただきますようお願いいたします。また、6月以降にご入金のご予定がある場合には事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

※6月以降、事務局でご入金を確認できない場合には、確認できるまで学会誌の発送を停止させて頂くことがありますのでご注意下さい。

<年会費お振込先>

●郵便局      口座番号：00180-6-709632      加入者名：教育システム情報学会

お振込の際には、会員番号 JSiSE-\*\*\*\*\* (アルファベットを除く下線部分の会員番号) と氏名、ご入金の内訳を必ずご記入下さい。

所属機関から個人会員のお振込をされる場合には、必ずE-mail 又はTEL、FAXにてご連絡下さい。

## 事務局について

新事務員：浅野裕子

教育システム情報学会事務局

〒355-8533

大阪市東淀川区大隅 2-2-8 大阪経済大学内

TEL/FAX：06-6990-3638 E-mail：secretariat@jsise.org

月～金 9：00～17：00

(時間外につきましては翌日以降の処理となります。お急ぎの場合はメールでお送りいただくと早く処理されることがあります。)

## 「モバイル・ユビキタス学習環境／一般」

担当：研究会委員会 柏原 昭博／佐々木 整

2007 年 1 月 27 日 (土) に、八王子学園都市センターにおいて 2006 年度第 5 回研究会を開催いたしました。今回の研究会は、八王子学園都市大学の講座 (公開講座) として広く市民に公開する形式で開催され、また電子情報通信学会教育工学研究会 (1 月 26 日開催) と連続して開催されました。テーマは、「モバイル・ユビキタス学習環境」で、7 件の発表が行われました。参加者は、24 名 (うち八王子市民 3 名) でした。

テーマ自体は、教育・学習支援のみならず様々な研究分野で取り上げられており、萌芽期を脱した感があります。今回の研究発表でも、新しいモバイルデバイス、ユビキタスシステムを応用した学習環境の開発など、実用指向で興味深い試みが紹介されていました。また、発表時には発表者と聴衆者との間で活発な議論が交わされ、大変有意義な研究会となりました。

日 時 2007 年 1 月 27 日  
会 場 八王子学園都市センター

### 1) 視覚障害を持つ学生への Java 言語のプログラミング教育の実践

佐々木信之 (筑波技術大学)

視覚障害を持つ学生に対するプログラミング教育として、汎用性の高い Java 言語が有用であるが、その教育では主にアプレットを中心としたグラフィック環境でのプログラム動作の確認方法が従来から問題であり、テキストベースのアプリケーション中にならざるを得なかった。そこで 2005 年度、2006 年度の 2 年間にわたり、音声ガイドを用いた低レベルインタフェースのマウス操作、点図ディスプレイ (DV-2) を用いた文字、図形、アニメーションの確認、定型パターンの部分コードのダウンロード環境の構築、などにより、アプレットのグラフィック環境での動作確認ができるような各種工夫を行って実践し、良好な結果を得たので報告する。

### 2) 超鏡 (HyperMirror) を活用した第二言語学習—協調学習による異文化間コミュニケーションの能力向上への取り組み—

辻岡圭子、前迫孝憲 (大阪大学大学院人間科学研究科)、森川治 ((独) 産業技術総合研究所)

本研究では、対面式双方向通信可能なテレビ会議システムを利用した遠隔での超鏡 (HyperMirror) システムによる日米間の国際交流を通して、協調学習による異文化理解を深めることにより、第二言語による実践的コミュニケーション能力取得を目指した、超鏡システムの媒介道具としての活用方法を考える。

### 3) 教材の活用促進を目的とした親・子向けナビゲーションシステムの開発

堀田博史 (園田学園女子大学)、堀田龍也 (メディア教育開発センター)、林向達 (相山女学園大学)、星野徹、牛島大介 (株式会社ベネッセコーポレーション)

通信教育サービスにおいて、教材活用の実態に関する質問紙調査を行ったところ、教材活用を促進させる支援機能として、(1) 子の学習取り組み状況を把握する仕組み、(2) 子の学習努力に対するごほうびを提供するサービス、(3) 自らに適した学習スケジュールを実現するナビ機能、(4) 親の子へのアドバイス方法の 4 点が挙げられた。これらをもとに、子の学習に対する親の関与を高め、子それぞれに応じた教材の質・量を提案する親・子向けナビゲーション機能を実装したシステムを設計・開発した。2006 年 10 月より、開発したシステムを運用しており、概ね実装した機能が有効にはたらいっていることが確認された。

### 4) 新しい教育コミュニケーション環境としての携帯端末利用ワンセグ放送

清水克彦 (東京理科大学)、藤森克彦 (品川区教育委員会)、船橋洋介 ((株) トマデジ)、田沼純 (東京メトロポリタンテレビジョン (株))、渡辺成良 (電気通信大学)

Digital TV broadcasting services will start from 2011 in Japan. One-segment broadcasting technology is decided to use for regional services such as informing crises and distributing education. An advanced and challenging model which combines the one-segment broadcasting and mobilephone-type terminals was applied to a fourth year classroom of a mathe-



matics in an elementary school. The configuration of the model and experimental results are introduced in the paper.

#### 5) 教員養成課程における携帯電話を利用した演習課題の実践

安藤明伸 (宮城教育大学技術教育講座), 田畑輝彦 (宮城教育大学数学教育講座)

The purpose of this study is to develop a system which is able to be accessed by a mobile-phone and to consider its effectiveness when students use this system in a class. We adopted this system four times to a class "mathematics for a teacher of an elementary school." This system does not allow students to calculate over double figure in any numerical notation. This way made students find how to calculate. And we found that most of students participated in a class without trouble and confusion.

#### 6) Web Desktop System によるユビキタス学習環境の実現

小島伊貴, 池田直起, 佐々木整 (拓殖大学工学部)

教育現場には多くの PC が設置されているが, 常に利用できるわけではない。学生のほとんどが所有している PC を学習に利用することができれば, 利用時間や場所などの制限を受けずに予習や復習を行うことができる。しかし, プログラミングなど大学のコンピュータ教室と同じ環境を自宅に構築することは入学して間もない学生にとってそれは多くの苦勞を伴うものである。そこで, 著者らはこの問題を解決するために 1CD-Linux である KNOPPIX を用いて学習環境の提供を行っていたが, KNOPPIX にはデータ保存やメディアの持ち運びなどの問題があった。本稿では, この問題を解決するためにおこなっている Web Desktop System を利用した学習環境構築の取り組みについて提案を行う。

### ◆◇ 研究報告のお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は, 株式会社毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。

株式会社毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階(東コア)

TEL 03-6267-4550 FAX 03-6267-4555

e-mail maf-sales@mycom.co.jp URL <http://maf.mycom.co.jp>

なお, JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読(購読料は送料込みで年間4,000円)をご希望の方は JSiSE 事務局 TEL (06-6990-3638), Eメール ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までご連絡ください(年間6回)。

この際, ぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

(教育システム情報学会 研究会委員会委員長/伊東幸宏)

## 2007 年度第 1 回研究会のご案内

### e ラーニング環境のデザインと HRD (Human Resource Development) / 一般

日 時：2007 年 5 月 25 日（金） 終日

開催地：NTT 武蔵野研究開発センタ

コンベンションホール（東京，武蔵野市）

<http://www.ntt.co.jp/islab/access/index.html>

本年度第 1 回研究会は，e ラーニングを企業や大学における複合的な教育研修メディアと捉える立場から，単なる Web による教材配信にとどまらず，企業や大学における人材開発やマネジメントとの連携，学習コンテンツ設計，インストラクショナルデザイン，品質評価などの方法論，ツール，システム，実践環境に関する提案・構築など幅広いトピックスを扱ってきました。

今回もこのような分野に関するご発表を募集いたします。その他，教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎致します。初中等教育，高等教育，企業教育などの分野から，多くの方々の発表をお待ちしております。

■ 発表申込締切：締め切りました

■ 原稿提出締切：2007 年 4 月 27 日（金）

※ 原稿は A4 用紙で 2 枚以上の 8 枚以下の偶数枚でご準備いただきますが，パワーポイントを出したもので構いません。

※ 発表原稿は「研究会資料」として製本し配布されます。

送付先：電子メールに添付して松居（[matsui-t@waseda.jp](mailto:matsui-t@waseda.jp)）までご提出下さい。なお，ファイルサイズが 2M を超える場合にはご相談下さい。

■ 懇親会

研究会終了後，NTT 武蔵野研究開発センタ内で懇親会を開催する予定です。会費は 4～5000 円の予定です。

■ お問い合わせ先

松居 辰則（[matsui-t@waseda.jp](mailto:matsui-t@waseda.jp)）

早稲田大学 人間科学学術院 人間情報科学科

〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15

Tel. & Fax. 04-2947-6924

## 2007 年度第2回研究会開催のお知らせ

下記の通り，第2回研究会を開催します。

テーマは「Web テクノロジー」となっておりますが，教育やシステムに関連する研究を幅広く募集致します。

奮ってご参加の程，宜しく申し上げます。

担当：不破 泰，小松川浩，野崎浩成（研究会委員会）

■テーマ Web テクノロジー／一般

■日 時：2007 年 5 月 25 日（金）

■会 場：千歳科学技術大学（北海道千歳市）  
<http://www.chitose.ac.jp/web/aboutcist/access.html>

■申込締切 5 月 11 日（金）

■原稿締切 6 月 8 日（金）

※ 原稿は，A4 用紙で，2 枚～8 枚程度まででお願いします。

※ 発表原稿は，「研究会資料」として配布されます。

■申込方法

以下の「発表申込フォーム」を，5 月 11 日までに，下記＜発表申込フォーム＞にしたがって [nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp)（野崎宛）にお送り下さい。

なお，メールのタイトルは，「Jsise 研究会発表申込」として下さい。

---

### 第2回研究会【発表申込フォーム】

- ・ 発表タイトル：
  - ・ 著者・所属：
  - ・ 発表概要（数行程度）：
  - ・ 著者連絡先（住所，Tel，Fax，Email 等）：
- 

■お問い合わせ先

野崎 浩成（愛知教育大学）

E-mail：nozaki@aecc.aichi-edu.ac.jp

# 2007年度 教育システム情報学会中国支部 研究発表会研究発表の募集のお知らせ

中国支部では2007年6月30日(土)に総会を開催し、その後に研究発表会を行います。つきましては、中国支部の方はもとより、他地区の方にも参加していただきたく、広く会員の方々に教育システム情報に関連した研究についての研究発表を募集します。多くの方々に是非ご参加をお願いします。

日 時： 2007年6月30日(土) 13:00~17:00  
会 場： 宇部フロンティア大学 (会場校責任者：高本明美)  
〒755-0805 山口県宇部市文京台2丁目1-1  
<http://www.frontier-u.jp/frontier/univ/contentunv/accessmap.html>  
内 容： 教育システム情報に関連した研究についての研究発表

**発表申込み締切：** 2007年6月1日(金)

**発表申し込み方法：** 宮地宛(miyaji@mis.ous.ac.jp)に下記の項目を記載して送ってください。

- (1) 発表題名
- (2) 著者名(登壇者に○)
- (3) 所属
- (4) 連絡先住所、氏名、電話番号、電子メール
- (5) その他、発表に関する要望
- (6) 中国支部懇親会への参加・不参加

**原稿提出締切：** 2007年6月15日(金)

送付先： 〒700-0005 岡山市 理大町 1-1  
岡山理科大学総合情報学部情報科学科 宮地 功 (miyaji@mis.ous.ac.jp)

原稿形式： A4用紙2~6頁。用紙の上下左右に20mmずつの余白を取る。原稿題名、英文題名、著者名、英文著者名、所属、英文所属、原稿概要、キーワード、はしがき、本文、むすび、参考文献の順に書く。本文は2段組で、1頁45行程度、1行50文字程度とする。論文題名のフォントは15ポイントのゴシック体、章のタイトルのフォントは11ポイントのゴシック体、本文のフォントは9ポイントの明朝体にする。その他は、教育システム情報学会研究会原稿作成に準ずる。

注 意： 投稿はEmailの添付ファイルでもよろしいです。研究発表講演論文集は提出された原稿と同じA4の大きさで印刷し、配布します。

## <2006年度 学生・院生研究発表会が開催されました>

春うららかな3月3日(土)、電気通信大学にて、教育システム情報学会 渉外・活性化委員会主催の「学生・院生研究発表会」が開催されました。香川大学、東京理科大学、高崎商科大学、上智大学、電気通信大学、静岡大学、工学院大学、帝京大学、早稲田大学(発表順)の各大学から、学部3年生から博士後期課程2年生まで、口頭9件、ポスター4件の発表がありました。

どの発表も、今年度の研究の“総決算”であり、来年度へのステップとして、非常に興味深く、練り上げられたものでした。一人20分の持ち時間で、全国大会よりじっくりプレゼンテーションを行い、フロアから多数、質問やコメントなどが飛び交い、熱い研究発表となりました。

オリジナリティあふれるもの、努力の跡がにじみでているもの、緻密に丹念に作業を積み重ねたもの、などさまざまな発表やポスターがあるなか、会長・伊藤紘二審査委員長はじめ5名の渉外・活性化委員会委員、会場校担当の植野先生の7名で、研究内容、プレゼンテーション、質疑応答のやりとりなどの観点から慎重な審査を行いました。

どの発表もすばらしく、甲乙つけがたかったのですが、以下の4件の発表を優秀であるとし、会長から賞状を手渡し、表彰を行いました。

### ■優秀発表賞(発表順)

- ・香川大学 大学院 工学研究科 博士前期課程1年 水野 貴規  
「投稿型自主学習素材共有システムの開発」
- ・工学院大学 大学院 情報学専攻 修士2年 小山 達也  
「ビデオ学習を支援する協調学習システム」
- ・帝京大学 大学院 博士後期課程 2年 水谷 晃三  
「エージェントによる Web 型学習システムの実践導入と考察」

### ■優秀ポスター発表賞

- ・静岡大学 大学院 情報学研究科 修士2年 白井 智  
「機械機構シミュレータと学習シナリオ設定機構を持つ学習支援システム構築」

今回は関東地区で行いましたが、今後、全国各地での開催を検討しています。是非、「我こそは!」と思われる学生会員諸君の発表を期待しています。

なお、最後になりましたが、会場をご準備頂いた電気通信大学の植野先生に感謝いたします。



文責：渉外・活性化委員会幹事・西端律子(大阪大学)

## 2007 年度 JSiSE 研究会予定

第1回	2007年5月	e-learning／企業内（東京）	仲林，松居，石打
第2回	2007年7月	Webテクノロジー（北海道）	不破，野崎，小松川
第3回	2007年10月	問題作成，スキル（名古屋）	柏原，平嶋，小尻，曾我
第4回	2007年11月	生涯学習（中国・四国）	黒瀬，米澤，林
第5回	2008年1月	モバイル・ユビキタス（東京）	佐々木，渡辺
第6回	2008年3月	情報教育関係（静岡・浜松）	松永，西野

詳細が決まっているもの，決まりつつあるものは以下の通りです。

### 第1回

開催期日：2007年5月25日  
 開始場所：NTT 武蔵野研究開発センター コンベンションホール  
 開催テーマ：eラーニング環境のデザインとHRD（Human Resource Development）／一般  
 担当：仲林，松居，石打

### 第2回

開催期日：2007年7月14日（土）  
 開始場所：千歳科学技術大学  
 開催テーマ：Webテクノロジー／その他  
 担当：不破，小松川，野崎

### 第3回

開催期日：2007年10月20日（土）  
 開始場所：名古屋大学  
 開催テーマ：問題を中心とした学習支援およびスキル支援／その他  
 担当：柏原，平嶋，小尻，曾我

### 第4回

開催期日：2007年11月24日（土）  
 開始場所：香川大学  
 開催テーマ：生涯学習につながる初等中等教育機関へのICT学習支援／その他  
 担当：米澤，黒瀬，林